平成30年度地方創生関連交付金事業の効果検証について(地方創生推進交付金事業分)

1. 地方創生推進交付金の活用

<交付金の趣旨>

地域再生計画に記載された、地方版総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を、複数年度(概ね5か年度以内)にわたり安定的・継続的に支援するため、創設されたもの。

- <対象事業>
- ①先駆性のある取組(官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、中核的人材の確保・育成)
- ②先駆的・優良事例の横展開(地方創生の深化のすそ野を広げる取組)
- ③既存事業の隘路を発見し、打開するための取組

2. 草津市における「地方創生推進交付金」対象事業

事業名	平成30年度 予算額(円)	平成30年度 実績額(円)	交付金 補助率	事業概要および事業内容	総合戦略における事業 の位置付け(戦略目標 /戦略プロジェクト)	重要業績評価指標 (KPI)		事業終了後の実績値		実績値を踏まえた事業の今後について		外部有識者からの評価	
No. 担当課 計画期間						指標	目標値	実績値	事業効果 ※1	今後の方針 ※ 2	今後の方針の理由	事業の評価 ※3	外部有識者からの意見
(1) 事業名、健生のでは、 事業人もる市プ 当来C生工資、課策課、課 当29年 (2) 神型 (K)、課進政健課と (3) 成元元 年 (3) 成元元 年 (4) の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	20, 336, 000	14, 364, 791	【交付金】 7, 182, 395 【補助率】 1/2	【事業概要】 ・本市が抱える特有の課題と目指すべき将来像を実現をあるため、住む人や訪れる人の・で幸」の続けられるよがう、「自体を政策とした。という、「自体を政策とした。」を感じられるよう。「自体ではない。」を理ないます。「はない。」を理ないます。「はない。」を理ないます。「はない。」を理ないます。「はない。」を理ないます。「はない。」を理ないます。「はない。」を理ないます。「はない。」を理ないます。「はない。」を理ないます。「はない。」を理ないます。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はない。」を明れている。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」を明れている。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。「はないる。」はないる。」はないる。「はないる。」はないる。」はないる。「はないる。」はないる。」はないる。「はないる。」はないる。。」はないる。」はないるいる。。」はないるいる。。」はないるいる。。」はないる。。」はないる。。」はないる。。」はないる。。」はないる。。」はないるいるいる。」はないるいる。。」はないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	が 戦略目標(2) 力強い経済活動や多様 な主体の連携が交流 活気を生み、まちが躍動する	(1)「健幸都市くさつ」の 実現をアシストする健幸 づくりツアーの売上高 現状値: H28 0円	H30 540,000円 R 1 810,000円	<u>H30</u> 1,074,700円 (<u>H29</u> 213,570円)	地方創生に効果があった (KPI2項目で目標が達成でき、各事業の実施を通じて、地域資源を生かした健康で づくりの推進を図ることができ、また、健幸都市宣宮ることができたため)	令和元年度は、全てのKPIについて、 実績値が目標値を上回るよう、各事業の単 進に取り組む。特にであると思う市民の 市が「健幸なまち」であると思う市民の健等 合」の目標値を達成するため、市民の健等 都市に対するでものとなるようと 都市に対すっても多事業等に取り組むとと			
						(2)草津市が「健幸なま ち」であると思う市民の 割合 現状値: H28 38%	H30 45% R 1 50%	H30 30.7% (H29 35.5%)			地方版総 合戦略の KPI達 成に有効	指標 (2) に動き (2) に動き (2) に動き (2) に動き (2) に動き (2) に動き (3) に対した (3) に対した (4)	
						(3) 健幸都市宣言賛同企 業・団体数 現状値: H28 78か所	<u>H30 118か所</u> R 1 140か所	H30 179か所 (H29 116か所)			に、新たに「草津・たび丸kitchen」推進事業を展開していく。		因等の分析を深められたい。 達成に「有効であった」 効とは言えなかった」の
(1)事業名 ビワイチ推進プー 「ビワイチサンイラリングラ転車 ドリングラ転車 光の聖地へ (2)担当光光致政課 (2)直上観票 (滋賀県、大変議算、大学			【全体分】 177,520,062 【章津市分】 10,025,820 【東大の と	・自転車によるびわ湖一周「ビワイチ」をはじめ、 県内各地を自転車で巡るため、気軽に自転車を利用 できる環境、安全・安心・適正に自転車を利用 できる環境、観光資源の魅力向上および、これらを総合的 に発信する情報提供環境の整備が進み、滋賀を気軽 に自転車で観光する文化が浸透することにより、交流人口や宿泊客数の増加、地域経済の活性化へ寄与 している姿を目指す。 【事業内容】 ・サイクリスト向けの情報発信の充実 ・サイクリストを誘客するPR動画の作成	用る的軽変与 戦略目標(2) 力強い経済活動や多様と を交与 対強い経済活動や多様と を流気をとみ、まちが 動する 戦略プロジェクト 多様な交流の促進	(1) ビワイチ推進による日 帰り・宿泊客数 現状値: H27 52,000人	H30 120,600人 R 2 152,900人	H30 106,000人 (H29 95,000人) H30 302,200,000円			令和元年度は、全てのKPIについて、		
	【全体分】 185,537,000 【草津市分】 10,000,000	177, 520, 062				済波及効果 現 <u>状値:</u> H27 158,000,000円	338,600,000円 R 2 416,000,000円	(<u>H29 272, 800, 000円</u>)	地方創生に効果があった (KPI達成状況は芳しくなかったものの、情報発信や受 入環境等の整備に加え、PR	事業の継続	実績値が目標値を上回るよう、各事業の推進に取り組む。 サイクリストだけでなく、ファミリー層にもターゲットを広げるため、多くの方が自転車に親しんでいただくきっかけとなる	KPI達	「利用者」が増え ている状況をアピー ルするなど、良い評
市、草津市、守山市、東近江市、米原市による連携事業)						(3) 宿泊客の増による経済 波及効果 現状値: H27 456,000,000円	<u>H30</u> <u>1,192,400,000円</u> R 2 1,508,000,000円	<u>H30 1,033,300,000円</u> (<u>H29 915,700,000円</u>)	動画の作成等に取り組むことで、地域経済の活性化に寄与できたため)		イベントの実施やビワイチコースやイベント情報をホームページへ掲載するなど、引き続き、地域経済の活性化につながる取組を進めていく。		価を見せていくこと も必要。
(3)計画期間 平成29年度~令 和2年度					4) 日帰り・宿泊客の増加 よる経済波及効果 <u>北状値:</u> <u>H27 614,000,000円</u> R 2 1,924,000,000円	<u>H30 1,335,500,000円</u> (<u>H29 1,188,500,000円</u>)				くは「何が良	て、「評価できる点」もしくなかったのか」、「考え、改善策は何か」といっれば記載		

ightarrow 1「事業終了後の実績値」欄のうち、「事業効果」欄については、以下に基づき評価を行いました。

選択肢	基準				
地方創生に非常に効果的であっ た	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が 得られたとみなせる場合				
地方創生に相当程度効果があっ た	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね(7 ~8割程度)成果が得られたとみなせる場合				
地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合				
	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合				

※2「実績値を踏まえた事業の今後について」欄のうち、「今後の方針」欄については、以下の基準等を踏まえて、令和元年度以降の方針を示しました。

選択肢	基準
事業の発展	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる場合
事業の改善	事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った)場合
事業の継続	計画通りに事業を継続する場合
事業の中止	継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した)場合
事業の終了	当初予定通り事業を終了する(または、した)場合

※3「外部有識者からの評価」欄のうち、「事業の評価」欄については、草津 市まち・ひと・しごと創生推進懇話会委員の意見を踏まえて、以下から選択し ます。

選択肢
地方版総合戦略のKPI達成に有効であった
地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった

平成30年度地方創生関連交付金事業の効果検証について(地方創生拠点整備交付金事業分)

1. 地方創生拠点整備交付金の活用

<交付金の趣旨>

地方公共団体が進めている地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業について、地方の事情を尊重しながら施設整備等の取組を進めることを目的として創設されたもの。

<対象事業>

地方公共団体において、それぞれの地方版総合戦略に位置付けられた(ないしは位置付けられる予定である)事業であって、未来への投資に重点を置きつつ、地方創生の深化に向けて、効果の発現が高い施設など。

2. 草津市における「地方創生拠点整備交付金」対象事業

事業名	平成30年度 予算額(円)	平成30年度 実績額(円)	交付金 補助率	事業概要および事業内容	総合戦略における事業 の位置付け(戦略目標 /戦略プロジェクト)	重要業績評価指標 (KPI)		事業終了後の実績値		実績値を踏まえた事業の今後について		外部有識者からの評価	
No. 担当課 計画期間						指標	目標値	実績値	事業効果 ※1	今後の方針 ※ 2	今後の方針の理由	事業の評価 ※3	外部有識者からの意見
(1)事業名 常盤学区における地方を創生が加え 整備プロジェクト 1 (2)担当課 まちづくり協働 課 (3)計画期間 平成29年度~令 和3年度	283, 000	67, 650		【事業概要】 ・地域のまちづくりの拠点である常盤まちづくりを ・地域のまちであわせて、農業振興スペースを整備し、調理室・サロンを隣接させ、農業振興スペースを を活用した農業振興や地域の農産物を活かしたコミュニティカフェの実施等、地域の特色を活かしたコミュニティビジネスの展開を推進する。 【事業内容】 ・コミュニティビジネス先進地視察研修 ・地域活性化講演会	地域課題の解決が図られ、健康で安心して末れ、健康で安心して末れ、	(1) 地方創生拠点としての 常盤まちづくりセンター でのコミュニティビジネ スの実施による収入の増 現状値: H28 0円	<u>H30 0円</u> R 3 500,000円	<u>H30</u> 67, 090円 (H29 0円)	(RF12項目で日標を達成でき、常盤まちづくりセンターを活用したコミュニティ事業の継続				加達成に「有効であった」 可効とは言えなかった」 かで評価
						設利用料収入の増 現状値:	<u>H30</u> 119,000円 R 3 299,000円	<u>H30 92,000円</u> (<u>H29 60,100円</u>)		令和元年度は、全てのKPIについて、 実績値が目標値を上回るよう取組を進めて いる。 常盤まちづくりセンターを拠点とした農業振興や地域活性に資する事業等を、地域 の協力のもと実施するとともに、先行事例 地への研修・講演会の開催等を進めてい く。	合戦略の <u>KPI達</u> <u>成に有効</u> であった	指標(1)および 指標(2)が指標 (3)へどのように リンクを取組のなり、 等、分取組のような より分かるような工 夫が必要。	
						(3)地方創生拠点の波及効果を含めた草津市の農業 生産額の増 型状値: <u>H28 2,590,000,000円</u>	H30 2,590,000,000 円 R 3 2,610,000,000 円					くは「何が」 えられる原	いて、「評価できる点」もし 良くなかったのか」、「考 因、改善策は何か」と むがあれば記載

※1「事業終了後の実績値」欄のうち、「事業効果」欄については、以下に基づき評価を行いました。

選択肢	基準
地方創生に非常に効果的であっ た	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が 得られたとみなせる場合
地方創生に相当程度効果があっ た	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね (7 ∼8割程度) 成果が得られたとみなせる場合
地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

※2「実績値を踏まえた事業の今後について」欄のうち、「今後の方針」欄については、以下の基準等を踏まえて、令和元年度以降の方針を示しました。

選択肢	基準
事業の発展	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる場合
事業の改善	事業の効果が不十分であったことから見直し (改善) を行う (または、行った) 場合
事業の継続	計画通りに事業を継続する場合
事業の中止	継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した)場合
事業の終了	当初予定通り事業を終了する(または、した)場合

※3「外部有識者からの評価」欄のうち、「事業の評価」欄については、草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会委員の意見を踏まえて、以下から選択します。

5 7 0	
選択肢	
地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	
地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	